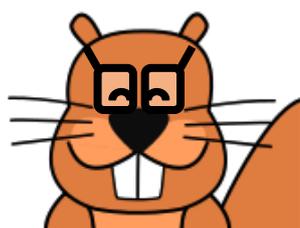


2月～3月上旬の農作業

種まき	栽培のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・レタス ・キャベツ ・ブロッコリー など (トンネル・温床線 条件下) 	<p>【タマネギの追肥】</p> <p>追肥は2月中旬～4月上旬頃までに、<u>2回程度に分けて</u>行います。</p> <p>本県の場合、3月下旬頃から養分吸収量が急激に増大するため、この時期までに作業を終えると十分な玉肥大が期待できます。追肥時期が遅すぎると、小玉化して収量が上がらないほか、軟弱球となって貯蔵性が低下するので、生育後半に肥料が効きすぎないように注意が必要です。</p> <p>窒素成分量で100～150g(10㎡当たり)が全追肥量の目安となるため、2回に分け施肥するならばこの量を2回に分けるものと解釈します。例えば、尿素(窒素成分46%)であれば、手で2握り(120g程度(窒素成分55g))を2回に分けて施肥します。</p> <p>追肥過多は、辛くなるなど食味に悪影響を与えることもあるので注意しましょう。</p>
<p>収穫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウレンソウ(ハウス) ・コマツナ(ハウス) ・長芋 など 	 <p>たまねぎ生育状況(H30.1.30)</p>

土づくりディスカッション(シリーズ第2回)



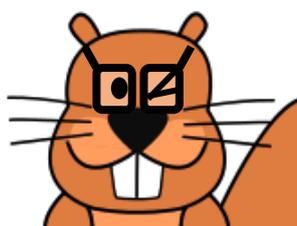
木曾普及員

3月からレタスやハクサイなど葉菜類の定植が始まります。栽培に向けて土づくり作業が本格化する時期になりましたね。今回は、土づくりに必要な「土壌改良資材」についてお話します。

よく知られている資材として、もみ殻くん炭、稲わら、牛ふん堆肥があるけれど、他にも色々あるのよね？



深宮



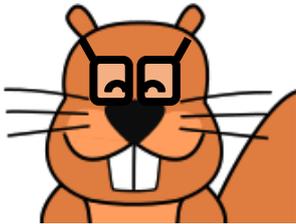
木曾普及員

他にバーミキュライト、パーライト、バーク堆肥… etc があります。何だか聞きなれないものもありますよね。資材ごとに効果が異なるので、目的に合ったものを選びましょう。次ページの図1を参考にご覧ください。

前回は、“持続的農業の中心に据えられたのが、有機物を使った「土づくり」だ”と学んだわね。
バーミキュライト、パーライト… etc は有機物じゃないけれど、大丈夫なの？



荻原



木曾普及員

鉱石を原料に産出された人工物ですが、土壤改良効果が明確で品質表示基準が定まっています、「地力増進法」上の政令指定資材になっているため安心して使用できます。土壤改良資材は、稲わら、牛ふん堆肥などの有機物だけではないのです。
ところで、土壤改良効果って具体的にどのようなことを言うのかご存知ですか？
次回はこの辺りを詳しくお話します。



荻原

「土づくり」って知れば知るほど奥が深そうね！！



深宮

土壤改良資材の中には、品質表示基準が定められている政令指定資材だけでなく、肥料取締法で肥料に該当するもの(例：堆肥、石灰など)やそのいずれにも該当しないもの(例：稲わら、もみ殻くん炭など)も含まれます。現在、土壤改良効果が明確で品質表示基準が定められている資材(12種類)として、泥炭(ピート類)、バーク堆肥、腐植酸質資材、木炭、バーミキュライト、パーライト、VA菌根菌資材…などがあります。

バーミキュライト	パーライト
多孔質で非常に軽く土壤の通気性や透水性改善に効果がある。挿し木用土、種まき用土など園芸用培土として広く利用されている。	多孔質で白く軽い(水に浮く)。干害を受けやすい「砂土～砂壤土」の保水力改善効果がある。一般に土壤に1～2割混入して利用する。

〔主な効果〕

〔資材名〕

物理性改善	透水性改善	バーミキュライト、木炭、堆きゅう肥
	保水性改善	泥炭、パーライト、稲わら、堆きゅう肥
	土壤の団粒形成	堆きゅう肥、稲わら
	土壤の膨軟化	バーク堆肥、堆きゅう肥、泥炭
化学性改善	保肥力改善	泥炭、腐植酸質資材、堆きゅう肥
	リン酸供給能改善	VA菌根菌資材

図1 土壤改良資材の主な効果と資材名

あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

技術事項作成協力

上田農業改良普及センター(木曾)

電話番号：0268-25-7156(直通) FAX：0268-23-2161